

# かけはし

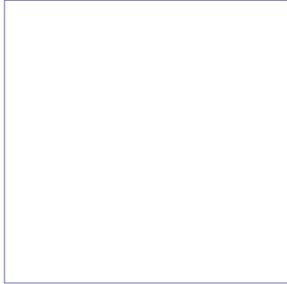
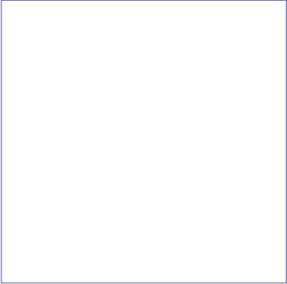
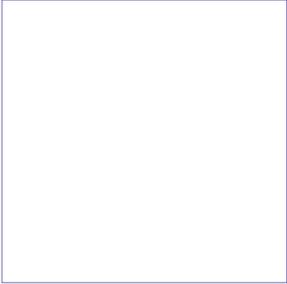
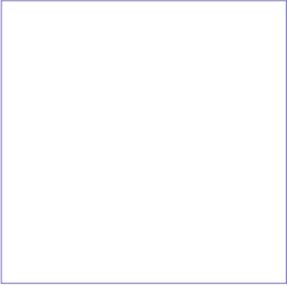
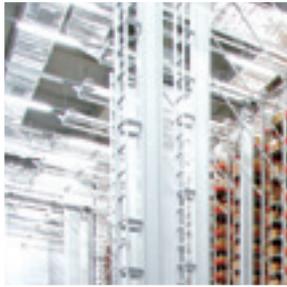
6

June

2015 vol.171

かけはしマネジメント対談

## 株式会社ダイフク



企業・強みの研究

### 大喜工務店

企業・強みの研究

### 株式会社金山精機製作所

地域が変わる—地域活性化の現場

### 大津【かんじる比良の会】

02	ビジネストーク 「社会貢献型2商品」	16	アナリストレポート 県内景気天気図 引き続き弱含みの足踏み状態
03	かけはしマネジメント対談 株式会社ダイフク 代表取締役社長 北條 正樹氏	18	ズームアップ 県内経済情報 「定年まで」の意識高まるも「転職」志向も増加 (「2015年新入社員意識調査」より)
07	企業・強みの研究 大喜工務店	20	主要経済指標
09	企業・強みの研究 株式会社金山精機製作所	21	イチ押し! pick up 株式会社TALLTREE 「究極のスピードトリミング」
11	地域が変わる—地域活性化の現場 大津 かんじる比良の会	21	しがぎんトピックス 故・高田紘一「お別れの会」に2千人が参列
14	アジア&ワールド アジアの世紀 ～「中進国の民」回避が鍵～	22	着眼大局 「挑 戦」 専務取締役 吉田 郁雄
		22	県内データあれこれ 産業別就業者割合



02



07



09



11



21

「環境金融」で低炭素社会へ



滋賀銀行は、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、「環境経営」に取り組んでいます。



当行は、気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。

本誌「かけはし」は、<http://www.keibun.co.jp/>でもご覧いただけます。  
※「かけはし」の名称は、(株)しがぎん経済文化センターが商標登録しています。  
本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複写(コピー)・複製(転載)を禁じます。

## ビジネストーク

# 「社会貢献型2商品」

頭取 大道 良夫



皆さまから社会貢献型2商品に大きなご支援をいただいています。当行は「環境」「文化」「福祉」を3本柱に、微力ながら「企業の社会貢献」(CSR)活動に取り組んでおりますが、これら商品の新規取扱開始には「さらなる社会貢献を」との思いを込めました。

社会貢献型2商品の一つ目は、CSR私募債「つながり」(2014年11月取扱開始)です。これは、当行独自の環境格付「PLB格付」での一定水準の格付取得とともに、財務内容等の適格基準を満たされた、環境保全に熱心な企業様が新たな資金調達を目指して発行される私募債です。PLB格付に応じてクーポン(金利)を優遇します。

そして、「つながり」発行に際し、当行が発行金額の0.2%相当額を拠出して図書やスポーツ用品など「子どもたちの学びや成長を応援する物品」を国・公立学校へ寄贈します。

このような私募債の取り扱いが近畿の地方銀行で初めてで、企業様には「社会貢献できる」と好評です。本年4月末までの5カ月間に38社に発行いただきました。

寄贈先は発行企業様のご希望に沿いますが、経営者様の母校や本社所在地の学校が多く、プロジェクターやテント、液晶テレビ、鉄棒、耕運機や楽器などをお届けしています。

学校からは贈呈式で感謝の言葉を頂戴し、子

どもたちからは直筆のお礼の手紙をいただきました。「この商品を開発・提供して本当に良かった」と思う瞬間です。寄贈先の学校、発行企業様、当行にとって、まさに「三方よし」と、勝手ながら自負するとともに、「地域子どもたちとのつながり」を一層大切に」との思いを新たにしています。

二つ目は、滋賀県の未来のアスリートを応援する「しがぎん」スポーツ応援定期 未来りーと(2014年12月取扱開始)です。

お客さまにお預け入れいただいた定期預金残高の0.005%相当額を、アマチュアスポーツを支援する「レイクス・スポーツファンズ(公益財団法人滋賀レイクスターズ)」に寄付するもので、滋賀県ゆかりのトップアスリートからジュニアレベルまでアマチュアスポーツを幅広く応援し、20年開催の東京オリンピック・パラリンピック、24年の滋賀県での2巡目国体開催に向けて地域スポーツ振興と地域活性化を、との願いを込めました。

募集総額は300億円を予定しておりますが、本年4月までに3000件以上のお預け入れをいただき、残高は100億円を突破しました。

今後とも、社会貢献活動として「環境」「文化」「福祉」を3本柱に、その時々での社会のニーズや期待にお応えする事業、商品の開発に積極的に取り組んでまいります。ご支援をお願いいたします。

株式会社ダイフク

代表取締役社長

北條 正樹氏

interviewer

頭取 大道 良夫

梅田支店長 別所 哲司

## 「運ぶ・仕分ける」が生む価値は無限。 マテハンは時代を動かす自動化システム。

絶えず新たな目標に挑む。「日に新た」の企業精神を实践するように、わが国のマテリアルハンドリング(マテハン)の歴史を切り拓いてきた株式会社ダイフク。トップランナーとして到達したポジションから世界市場を俯瞰し、さらなる高みを目指す。



株式会社ダイフク 代表取締役社長 北條 正樹(ほうじょう・まさき)氏

1971年、株式会社ダイフク入社。AFA海外事業部長、Daifuku America Corporation 取締役社長、Daifuku Canada Inc. 取締役社長、株式会社ダイフク 代表取締役副社長等を経て、2008年に代表取締役社長に就任。

### 生産・物流の価値を最大化する マテハンの「運ぶ・仕分ける」技術

大道 ●マテリアルハンドリング、略してマテハンとは、生産現場や物流拠点で扱う原材料や仕掛品、商品など、あらゆるモノの移動に関わる取り扱いのこと。ダイフクさんはこのマテハン分野で文字通り世界のトップ企業です。米国の専門誌による2014年度の業績発表では、全世界のサプライヤーの中で堂々の1位に輝かれましたね。

北條 ■ありがとうございます。当社は、1959年に国内初の自動車生産ライン向けに納入したチェーンコンベヤでマテハンの世界へ本格的に踏み出しました。その後、幅広い産業分野のニーズや時代の要請に応じて事業フィールドを拡げ、一般製造業・流通業向け、半導体・液晶生産ライン向けなど、さまざまなシステムを手掛けてきました。私どもはモノを動かすための基本技術と応用技術を組み合わせて、総合的にシステムとしてお納めしているわけですが、その基本はモーターとコントロールの機能をいかに組み合わせ「運び・仕分ける」か。従来は「保管」も重要な役割でしたが、いまは単なる保管の需要は減り、仕分けと保管が一体化されています。マテハン技術により、

移動距離の最小化やボトルネックの改善、在庫の最適化でコストを大幅に削減できます。ムダや間違いによる損失をなくし、移動中の破損を防ぐなどの配慮も欠かせません。お客さまの生産・物流活動の「価値」を最大化するため、モノを移動させるメカトロニクス系機能の高度化を絶えず追求するとともに、センサー類による視覚・識別機能のブラッシュアップにも日々努力しています。

国内自動車産業の発展を支え  
工場のFA化推進に貢献

北條 ■マーケティングについて「市場において満たされていないニーズを特定

して、創造し、提供すること」という定義があります。私どもはそれを実践できる立場にあると考えています。常に幅広い業態のお客さまのニーズを取り込み、マテハンの基本技術に駆動や制御、認識に関する最新の要素技術を組み合わせ、カスタマイズされたシステムにして提供する。そんなマーケットイン型のソリューションビジネスこそ当社の生命線です。お客さまの現状改革に対しては常に敏感でなくてはなりません。



自動車組立搬送システムの前で、左から別所支店長、北條正樹社長、大道頭取

北條 ■当時、マテハンはまったく未知の領域でした。米国の自動車ビッグ3の大量生産方式を支えたマテハン技術を持つウエブ社との技術提携が縁となり、先輩方が苦勞を重ねて「初の国産マテハンシステム」を築き上げました。「米国の生産方式に追いつきたい」という国内自動車メーカー様の熱意も力強い後押しになりました。

別所 ■その後、御社のマテハン技術は他の自動車メーカーにも普及しました。国内自動車産業発展の礎をダイフクさんが支えたといえますね。

大道 ■私がすごいと感じるのは、自動車業界での成功に安住せず、60年代半ばか

# 社是 日新

Hini Arata

今日の「われ」は  
昨日の「われ」にあらず  
明日の「われ」は  
今日の「われ」にとどまるべからず

## 会社概要

### 株式会社ダイフク

- 資本金/80億2,400万円
- 従業員数/7,746名  
(グループ計/2015年3月31日現在)
- 事業内容/物流システムに関するコンサルティングとエンジニアリング、および設計・製造・据付・サービスその他
- 本社所在地/大阪市西淀川区御幣島3-2-11
- 滋賀事業所/滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225
- URL/http://www.daifuku.co.jp/

## 沿革

- 1937年 株式会社坂口機械製作所として発足
- 1947年 大福機工株式会社に社名変更
- 1957年 米国ウェブ社と技術提携
- 1959年 日本初の乗用車専門工場へチェンコンベヤシステム納入
- 1966年 日本初の自動倉庫を開発・納入
- 1975年 滋賀事業所の操業を開始
- 1984年 株式会社ダイフクに社名変更
- 1994年 世界最大級のマテハン総合展示場「日に新館」開設
- 2011年 北米事業統括会社を設立
- 2013年 滋賀事業所に「ダイフク滋賀メガソーラー」完成



滋賀事業所

ピッキングシステム「eye in a vi」が大活躍しているそうですね。  
**北條** ■ eye in a vi はもともと生協さんの配送センター用に開発したもので、棚と集品箱双方に取り付けられた表示器の指示に従って商品をピッキングすることで、品種や数量を取り間違えミスを防ぎます。同センターではさらに高能力荷揃え装置「シャトルラック」など当社のマテハンシステム・機器を複数導入いただいたことで、作業者1人当たりの生産性が4倍、最短3時間で配達することが可能になりました。  
**大道** ● 1日当たり1万オーダーを扱う日本にはない大規模な配送センターだそうですね。いま力を入れておられる流通業界向けに、御社の技術力を発揮するいい機会になったのではないですか？  
**北條** ■ 半導体・液晶を含む製造業向け



半導体向け搬送システム「クリーンウェイ」



農産物選果システム「フィンガードミノソーター」によるミカンの仕分け

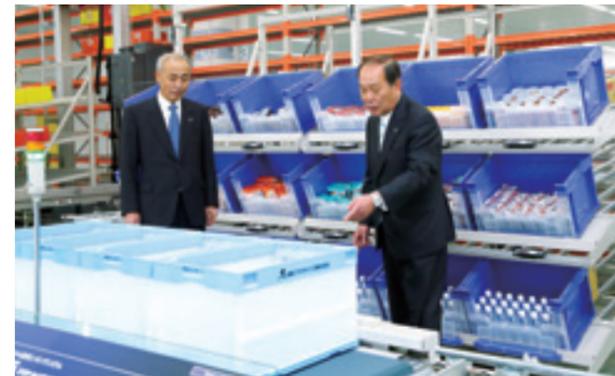
FAシステムはある時期まで花形でしたが、日本メーカーの多くが海外に進出し、製造業の国内投資が少なくなりまして。いまや国内投資の中心は流通業です。消費者を顧客とする分野ではさらにきめ細かな配慮が必要です。1個単位から仕分け・梱包・運ぶ機能が必要です。絶えずシステム改良が求められる世界です。  
**大道** ● 将来の労働人口減少が予想される中で、物流の合理化を追求するマテハンの役割はさらに増していくでしょうね。  
**北條** ■ 大手のeコマース企業でもピッキングはパートさんに頼っているのが現状ですが、そこでも人手不足が大きな課題となっています。今後はいま以上に「人手をかけずに、早く、正確に商品を届ける」自動化技術が求められるでしょう。

ら一般製造業向けへと事業フィールドを広げられたことです。現状にとどまらず、絶えざる前進に挑む「日に新た」の社是そのものですね。66年には国内初の自動倉庫を開発されました。  
**北條** ■ 材料や商品などをコンピューター制御により自動で出し入れ、保管する自動倉庫。当初は自動搬送機器と組み合わせることで一般製造業のFA化(工場自動化)に貢献することができました。自動倉庫の基本技術はクレーン技術ですが、この技術をさまざまな分野のニーズに合わせて進化させることで、その後の半導体・液晶生産分野や流通業といった新たなマーケットの開拓につながりました。時代ごとに市場の求めるものは変わりますが、当社は常にお客さまとともに新しい技術、システムを開発するニーズ型の開発企業として成長してきたのです。  
**現場のニーズと自社のシーズで新市場開拓**  
**大道** ● 知れば知るほど、ダイフクさんのマテハン技術がいかにこの国の製造業を支えてきたか分かります。まさに、80年代頃から、半導体工場でもマテハン技術が活躍するようになりましたね。  
**北條** ■ この分野での最大の敵はチリやホコリといった「不純物」。自動倉庫内に

広大な滋賀事業所は世界最大級のマテハン生産拠点  
**大道** ● 海外の売り上げが全体の65%に達する中で、中国、韓国を中心とするアジア圏と北米の比率が特に大きいですね。  
**北條** ■ 当社は世界全体ではトップクラスの実績がありますが、北米でのポジションはまだ4位。これから力を入れていきたい地域です。今後さらに成長が期待できるのはやはり中国や東南アジア市場でしょう。医療品や食品、農業関係のニーズの高まりを感じています。  
**大道** ● それにしても、この滋賀事業所は広いですね。敷地面積は約120万平方メートルで東京ドーム26個分。約2200人が働いていらつしやるとか。発電容量4400キロワットという滋賀最大級のメガソーラーにも目を奪われます。

清浄な空気を送り込むユニットを開発するなど、独自の創意を凝らすことで成長し、ピーク時には年間800億円を売り上げました。  
**大道** ● 先ほど、半導体ウエハ搬送システムを拝見しました。ウエハを収納するケースの内部は外気と完全に遮断され、最高レベルのクリーン度が保たれているそうですね。御社は、ウエハを窒素ガスで保護する「窒素パージシステム」、接触することなく搬送台車へ給電できる「非接触給電システム」など次々と新技術を生み出しておられます。  
**北條** ■ 最近では、配送センター内の作業測し、無人搬送車の走行速度をコントロールすることで安全を確保する「エリア管理システム」で、生活支援ロボットの国際安全規格「ISO13482」を世界で初めて取得しました。一時期はニーズに応えるだけでなくシーズ技術開発にも挑もうと専門チームを立ち上げましたが、お客さまの環境変化は速く、「いつか事業につながる」というペースではなかなか追いつかない。今年には各事業の中で開発を進める体制にシフトし、お客さまの現場にある現実のニーズの中に当社のシーズを求めているこうと考えています。

別所 ● マテハンの本質であるクレーンやピッキング等での新技術はいかがですか？  
**北條** ■ 段積み・平置きした多様な種類のケースを自在にハンドリングできる「スパイダー」は、世界初の新製品です。生産現場の重労働を解消し、効率向上につながるでしょう。これからは現場のニーズと当社のシーズの融合による新技術で、さらなる市場を掘り起こしたいですね。  
**配送業務の効率化を高める流通業向けソリューション**  
**大道** ● 韓国トップの総合スーパーが昨年新設したネットショッピング用の配送センターでは、ダイフクさんのデジタル



総合展示場「日に新館」のピッキングコーナー。150種類・400点のマテハンシステム・機器が展示され、操作体験もできる

# 頑丈な構造と健康への配慮にこだわった 自然素材で作る「無添加骨太住宅」。

年月をかけて自然乾燥させた  
太くて頑丈な構造材を持つ家

自然素材をふんだんに使った「無添加骨太住宅」。基礎や本体構造にこだわり、断熱や健康にもこだわる「すごい家」を

提供するのが大喜工務店だ。地元滋賀で評判の「行列のできる工務店」として、建物の内容と価格の比較により、多くの顧客に選ばれている。それは、徹底して施主の視点に立って考え、実践することを継続してきたからこそだ。



見ただけで骨太だと分かる太い天然材を使用

木造住宅の耐久性や耐震性の決め手の一つは耐力壁だけでなく、土台から屋根の梁まで通った通し柱や太い鴨居、梁にある。大喜工務店の家はその通し柱がとにかく太い。一般的に用いられる4寸角(120mm角)よりも大幅に太い6寸角(180mm角)のヒノキ材を標準仕様で定めていて、大黒柱にはヒノキ8寸角(240mm角)以上を使う。しかも本数が多い。梁や鴨居などの構造材も太く、見るからに骨太な構造を組み上げる。柱に使う木材は岐阜県や長野県から極太のヒノキ材を直接仕入れた上で、長い年月をかけて自然乾燥させる。構造材には集成材は一切使用しない。

「仕入れてすぐに使うと、曲がりや反りなどが生じる恐れがある。そこであらかじめ十分に年月をかけて自然乾燥させることで、狂いがなく、しかも強度も上がった材料にしておく」と藤田喜代次代表は長期

自然乾燥の意義を説明する。

「ただ、一般的には受注後に木材を仕入れることが多く、じっくり乾燥させる余裕がないので強制的な人工乾燥が普通だ。しかし、この方法では木材の組織が断裂するため強度が落ちてしまう。だからこそ、私たちは手間と時間を要する自然乾燥にこだわり、6寸角なら5年、8寸角なら7年、1尺角では10年以上をかけて長期自然乾燥させている」。大量の木材を自然乾燥させるため数カ所の土地を所有し、その総面積は「東京ドーム並み」というから驚きだ。

## 安心・安全へのこだわり

「過剰」といわれるほど徹底的に地震対策のための基礎へのこだわりもすごい。土地の深い部分まで徹底して調査を行い、軟弱な場合は地盤改良を行うが、その際、戸建て住宅ではほとんど使わ

れないPC杭を標準的に使用。強固な支持層に確実に到達させ、それを確認できる工法でしっかり打ち込み、地震時の液状化にも強い地盤補強を行う。さらに通常考えられない量の鉄筋を組み込んだベタ基礎を構築。構造計算上で耐震基準を軽く超える強度を持たせ、平屋建ての基礎ですら3階建ての基準で作られている。健康面への配慮も徹底している。全て無垢材で仕上げるだけでなく、無添加にこだわって独自調合したオリジナル珪藻土や、ドイツ本漆喰で内装をしつらえるなど妥協がない。また、外壁や屋根に通気層を設け、湿気や熱を抜く外断熱通気工法も採用している。

過剰と思えるほどのこだわりを幾重にも凝らした大喜工務店の無添加骨太住宅。構造の頑丈さと健康への配慮で安心・安全を実現する。さらに天然素材が醸し出すぬくもりがあり、誰もが住み続けたいくなる家だ。建築専門誌で紹介されたのを機に本気で家づくりに取り組む施主から注目され、いまでは常に2年待ちになるほどの人気だ。

## 良質な家を手頃な価格で

「口コミで集客できる」強み

藤田代表は「何世代にもわたって暮らせる家を手頃な価格で提供したい」との理念を掲げて曲げない。

「そんな条件でこれほどの家が建つの

か?とよく驚かれるが、それができる理由がいくつかある。打ち合わせや設計等の業務をすべて藤田代表とご子息の英喜さんの二人(どちらも一級建築士)でこなしている効率の良さがその一つ。さらに、顧客のほとんどが評判を聞きつけた口コミのため、広告宣伝費はほぼゼロだ。木材はもちろん建具や住宅設備までの一切をメーカー等から直接仕入れることで、調達原価を大幅に抑えることにも成功。さまざまな努力と工夫で、ハイグレードでありながら建築コストを抑えることを可能にしている。

## 家づくりを一生懸命学ぶ顧客と ご一緒おつきあい

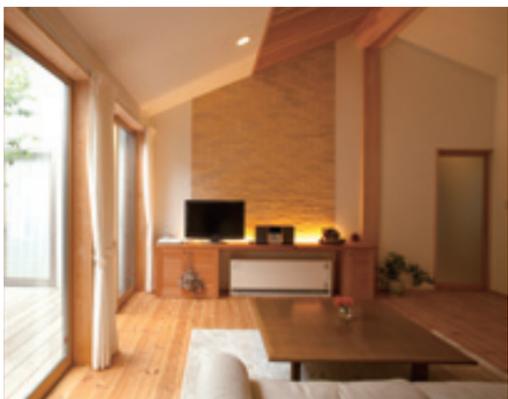
「おかげさまで、高い意識と行動力があり、良質な住まいを建てたいという思いで一生懸命に勉強されるお客さまが集まっていく。その気持ちに添えたいと、何度でもとことん相談に応じている。こんな姿勢はコストだけを考えるとでき



一般住宅とは思えないほどの鉄筋を使ったベタ基礎

ない。家づくりを天命と思えばこそ、良質な家を手ごろな価格でご提供できると藤田代表。

お客さま自身の家なのだから、建築中はいつでも自由に現場を見ることができ。当たり前のこととして先代の時代からやってきたという。お客さま自身で見積もりを行い、その金額で契約する、という仕組みも構築。構造についても、どうすればより強度を上げられるか、しっかりと伝えていく。加えて、顧客の住宅資金が安全に守られるシステムとし



天然素材のぬくもりに包まれたリビングダイニング

て、完成保証対応だけでなく、契約金も含めて費用は常に後払いとなっている。施主と工務店、互いの強い信頼関係があればこそ成り立つ仕組みだ。

年間の施工軒数は滋賀県内を中心に22棟ほど。中には大手ハウスメーカーで多額の契約金を支払ったにもかかわらず、それを捨てて大喜工務店で建てた施主もいる。藤田代表が目指すのは「家づくりで悔しい思いをする人をなくしたい」。この強い信念がある限り、常に最善の家づくりで施主の笑顔を増やし続けるだろう。

## Profile

### 大喜工務店

- 所在地/東近江市平田町764
- 創業/1952年
- 従業員数/7名
- 事業内容/一般建築業

<http://www.daiki-k.jp/>



代表  
藤田 喜代次氏

## Voice

徹底してお客さまの立場で考え、実践するからこそ、熱烈なご支持をいただいていると自負しています。時には数年かけて納得いただくまで打ち合わせし、施主さまの思い通りの住まいを建てる。これからも、この道をまい進いたします。



# 低コストで「24時間一定温度」を実現。 精度の高い製品を生み出す夢の工場。



## 省エネ型空調システムが 部品の精度を大幅に高める

緑風がそよぐ伊香立緑の里びわこサイエンスパーク。昨年9月に完成した金山精機製作所の滋賀工場が、工場内の温度を一定に制御・管理する画期的なシステムを採用し話題を集めている。

サブミクロン（1万分の1ミリ）単位の精度で作成する精密金属加工を得意とする同社にとって、工場内の温度を24時間一定に保つことは長年の夢だった。季節による寒暖差や朝、昼、夜の温度変化、工場内の上層下層の温度の違いなどで加工機械や材料に歪みが生じる。これが部品の精度低下につながるからだ。

とはいえ、従来型の電力を大量に使う空調システムではコストがかなりすぎる。新工場建設にあたって、金山隆社長は具体的な目標を掲げた。「10時間稼働してい



サブミクロン単位の精度で作成する精密金属加工

適なクリーン環境も実現。細やかな工夫を幾重にも凝らしている。

この新工場へ生産集約が図られた理由の一つは、現在の売り上げの5割を占めるパワーデバイス外装部品の増産に備えるためだ。パワーデバイスとは鉄道車両や変電所、石油パイプラインの電流制御に使われる半導体素子。同社が手掛けているのは高電圧、大電流で制御するパワーデバイスの外装部品で、特殊な焼結金属が素材に用いられている。

「硬いうえに割れやすい厄介な素材。その表面を極限にまで平坦に仕上げ、さらに微細な加工も施す。『この加工ができるのは金山精機だけ』と見込まれ、2000年に重電メーカーからパワーデバイスの加工を委ねられた。5年かけて要求精度に匹敵する加工に到達できた。高精度な機械加工の技だけでなく、精密研磨や鏡面加工の技まで併せ持つ一貫加工

た本社工場の空調コストと同水準で、24時間一定温度に制御する理想的な空調システムの新工場を実現しよう。既存の建築構造や空調システムでは対応できないだろうから、今までにない新しいタイプの工場を自力で構築するほかない。

こうした発想から、新工場には同社独自の工夫が随所に織り込まれている。まず、建物を新素材のアルミ蒸着遮熱シートやセルロースファイバーを使って、高遮断・高気密・高断熱構造に仕上げた。建屋全体をまるごと密封して外気温の変化を受けにくくしたのだ。

省エネ型空調システムの柱として採用したのは、山口県の企業が住宅向けに開発した「地中熱利用換気システム」。一年を通じて温度が安定した地下5メートルの地中熱を利用するパッシブ型空調（自然エネルギーを生かす空調）で熱交換を行い、夏なら30〜35℃の外気を27〜



金属の表面を鏡のように研磨する鏡面加工技術

体制が当社の強みだが、このデバイス加工技術は特別だ。

## 注油器製造で磨きをかけた 設計から加工までの一貫体制

茶碗等の窯業をルーツに持つ同社は、1950年代に紡績機械部品を手掛け、やがて工業部品にシフト。パワーデバイスと出合うまでは、船舶エンジンやコンプレッサー等に使われる注油器を長く事業の柱にしてきた。

30℃まで冷却し、冬は0〜5℃の外気を5〜8℃程度までに高める。さらに機械設備などの廃熱を利用することで、工場内を夏なら26(±1)℃、冬なら21(±1)℃の温度域に低コストで24時間維持できる。

**パワーデバイス増産に備え  
生産機能を新工場に集約**

「滋賀の新工場に山科清水焼団地にある2工場の生産機能の大半を移した。24時間一定の温度を維持する新工場では、温度変化による加工誤差が3分の1に減少。歩留まりが驚くほど高まった。何よりも、温度のことを気にせずに機械のボタンを押して加工作業に取り掛かれるのがいい。」

機械加工に伴う粉塵やオイルミストを排気したうえで、工場内の圧力を一定に維持できるように、自動制御で外気を導入する仕組みを設けるなど、作業に快

自慢の一貫加工体制はこの注油器製造で磨き上げた。オイルを圧送するポンプのシリンドラー部分が焼きつかないように絶妙な加工精度で仕上げ、また研磨の技で繊細な「緩目」を鏡面に入れるなど、あらゆる工程が80年代頃までに高い技術の域に達していたようだ。ある時期にはビデオデッキ用磁気ヘッド部品を手掛け、鏡面加工技術をさらにブラッシュアップさせた。

営々と磨きをかけてきた一貫加工体制のおかげで、パワーデバイス外装部品の受注量が年々伸びている。その加工精度をさらに高めようと新設した滋賀工場には、金山社長のもう一つの思いが託されている。

## 「優れた環境で高品質な製品を」 国内にモデル工場を広めたい

「以前、ベトナムに進出して挫折を味わい、これからは国内で腰を落ち着けて、と決意をした。中国などの海外勢と競う

ためには圧倒的な品質の優位性が必要。工場内を低コストで一定温度に維持し、優れたクリーン環境で精度の高い製品を生み出す。そんなモデル工場を創り上げ、グローバルな舞台で戦う国内のものづくり企業に提案し、中小製造業の再生に貢献したい。この新工場にはそんな思いを込めている。」

プラントメーカーに頼らず、住宅向けの資材やシステムを応用し、遮熱性能を自ら検証するなど自社の知恵を集めて完成させた新工場。地中熱を利用した低コストの空調システムを実現したモデル工場として、工場内の温度変化をデータ蓄積するなど「効果の検証」にも取り組んでいる。

その一方で金山社長は「原点」である窯業も忘れない。清水焼の振興にひと役買おうと、得意の金属加工と3Dプリンターを駆使して「時代感性に響く新しい洋食器」の事業化にも目を向けている。



一定温度に管理された滋賀工場の精密金属加工ライン

## Profile

**株式会社金山精機製作所**  
 ■本社/京都市山科区川田清水焼団地町4-9  
 ■滋賀工場/大津市山百合の丘10-18 (びわこサイエンスパーク内)  
 ■設立/1973年(創業1950年)  
 ■資本金/1,000万円  
 ■従業員数/65名  
 ■事業内容/パワーデバイス外装品の製造、注油器の製造販売、各種受託品の精密金属加工  
<http://www.kanayamajapan.com/>



代表取締役社長  
金山 隆氏

## Voice

地中熱利用や高性能遮熱シートを製造現場に応用し工夫を重ね、知恵を積みあげて創り上げた滋賀工場。精密機械部品などの製造業の皆さま、当社の地中熱を利用した新しい空調システムをぜひお役立てください。



# 芸術と暮らし、自然が溶け合う比良を発信 地域のつながり強める散策型イベント

大津市比良地域は京都までJR湖西線で30分余り、2005年には湖西道路の通行料無料化により利便性が向上し、都市部にはない静かな生活を求める人たちの関心を集めている。ここに工房を開いた芸術家や工芸作家、ショップ、飲食店などが参加する、地域散策型イベント「かんじる比良」が07年のスタート以来、恒例のイベントとして定着。比良の魅力を発信し始めている。

## 芸術家や工芸作家ら惹きつける 湖と緑と歴史とアートの地

琵琶湖と比良山系に挟まれた比良地域には、水と緑の自然に恵まれた環境を求めて、1960年代ごろから企業の保養所が数多く建設された。しかし、バブル経済の崩壊、景気低迷とともにそれらは次々と閉鎖に代わって、顕著になったのが、陶芸や木工、漆などさまざまな分野の芸術家や工芸作家の移住や工房、アトリエの開設だった。

先祖代々の地に暮らし、田園風景を守ってきた古くからの住民、クリエイターなどの新住民、別荘の利用者など、

思い思いの暮らし方を楽しむ人々が行き交い、風光明媚な比良には今、独特の地域文化が育まれている。

「かんじる比良」は、2007年に始まり毎年開かれていた地域散策型のイベント。比良地域の魅力を、自然・歴史・文化・アート・食を通じて発信しようと、JR湖西線蓬萊駅から北小松駅間の南北約10km、東西約2kmのエリア内にある工房や雑貨店、飲食店などが参加し、今年も5月16、17日(同時開催の「作家と職人展」は15、17日)に開催された。来場者はガイドマップを片手に、自然や街並みを楽しみながら、点在する出展場所を巡り、比良の魅力を全身で感じていた。

## 出展者が自ら組織し主催する 多彩な人材で作業を分担

かんじる比良は当初、出展者19人で始まった。今では、出展数は倍増の39に拡大し、来場者は5千人を超えるまでになった。

主催するのは「かんじる比良の会」。その年に出席する会員と、今回は出展できないが過去に出展した、あるいはこのイベントを支援したいという賛助会員がつける自主的な組織だ。

中心となる実行委員会は、陶芸作家や家具職人、アウトドアショップ経営者、



琵琶湖と比良山系にはさまれた自然豊かなロケーション



出展者と来場者が気軽に会話できるアットホームな雰囲気も魅力の一つ



手づくり教室などを開催する出展者も多い

ドッグトレーナー、カラーセラピスト、佃煮店主、ケーキ職人など、多彩な顔ぶれの7人。代表の山川君江さんは農産品加工を担う、女性でつくる「北比良グループ」のメンバーだ。実行委員は毎年、5月の開催に向け年明けから、出展者やボランティアの受付整理、行政や地元との調整、ガイドマップやホームページの作成、広報活動などの実務に取りかかる。

た。出展者のみなさんには、開催期間だけの特別な企画をしてほしいと願っています。工房の開放や体験教室、ミニコンサート、スペシャルメニューの提供など、それぞれに工夫を凝らし、楽しく盛り上げてくれています。でも、大がかりなことではなく、いつもの商品をこの日だけ特別に安くするだけでも構わない。無理をせず、できる範囲のことを楽しみながら参加する。それが、続けてこられた要因かもしれないと山川代表は話す。

「みんなが自ら汗をかき」と「無理をしないこと」を基本に続けてきました

無理をしないというスタンスから、イベント内容を見直すこともある。例えば、エリア内の一地区を選んで、地元の郷土史家の案内で巡る「歴史ハイキング」。当初は開催期間中に並行して実施していたが、今は単独で秋に開催している。会員が展示や店の人手を無理して、ハイキングに同行するために割くことを避けるためだ。

かんじる比良の運営資金は、大津市の補助金を受けた時期もあったが、今は会員5千円、賛助会員2千円の会費と企業からの協賛金ですべて賄う。

「お金がなければ、できる範囲で工夫する。どうしてもいいだろうと悩みながら、きつとこれからもなんとか続けていくのが、『かんじる比良』らしい」と山川代表は微笑む。

## 住む人のつながり生まれる 自然体で飾らぬ姿勢のイベント

かんじる比良は、メディアにもたびたび取り上げられ、遠方からのリピーターも多く、比良地域の情報発信力は着実に高まっている。一方で、地域の中にも良い変化を生むきっかけになった。

「出展者同士のつながりができて家族ぐるみつきあいになった、移住してきたばかりでも地域に溶け込むことができたと、という会員も少なくない。アットホームな空気が来場者にも心地よく伝わるのではないかと。また、外から来る方に教えられて、今まで当たり前すぎて、気にも留めなかった景色が魅力だと気付

く。自分の住むまちに自信を持ち、日常が楽しくなる機会になりました」と山川代表。

アートを軸にしたまちおこしイベントは各地にある。外部から有名アーティストを招き、非日常性を打ち出すイベントも多い。それに対して、山川代表は「比良は思いっきりローカルにやるほうが面白い気がする」と話す。来場者は地元で生活するアーティストが公開している創作の現場にお邪魔して、工房の日常をのぞき見るような体験までできる。頑張り過ぎない、自然体のイベントが「かんじる比良」だ。その飾らない姿勢が、かえって比良の魅力を素直に伝え、来場者の共感を呼んでいるのかも知れない。



出展者も観覧できるよう、1日早く開催されている「作家と職人展」

# アジアの世紀 ～「中進国の罠」回避が鍵～

texted by 滋賀銀行 国際部 国際営業グループ課長 小菅 一裕



カンボジア・プノンペン市内

「アジアの世紀」といわれてはや15年。この間、経済規模は中国で8.5倍、ASEAN10カ国で4.2倍、インドで4.7倍に拡大した。民間シンクタンクの予測では、これらの国や地域では2030年までにさらに2倍以上の経済成長を見込んでいる。一方、日本の名目GDP年平均成長率の予測は1.4%。日本企業がアジアに活路を見出そうとする傾向は今後も続くが、成長を停滞させる「中進国の罠」を回避しなければならない。

## ネクストチャイナ

中国は今年、1人当たり名目GDPの8,000ドル超えが確実視され、安定成長期に移行したかにみえる。中国政府のいう「新常态」とは「一服感」を表し、経済発展を量から質へ転換する一方、鄧小平以来30年間の高度経済成長に終わりを告げる「低成長宣言」ともとれる。中国が次に企図するのはODAやAIIB（アジアインフラ投資銀行）などを利用した「アジアの覇権」だ。このような経済の先行きで心配されるのが「中進国の罠」である。「中進国の罠」とは経済発展により1人当たりGDPが中程度の水準に達した途上国が、経済発展の構造を転換できずに成長率が低下したり、長期に低迷した場合によっては政情不安にもつながる状態をいう。すでに中国へ進出した2万社超の日系企業など外資系企業が心すべき課題でもある。

日系企業が「ネクストチャイナ」として

注目する都市は、プノンペン（カンボジア）、ヤンゴン（ミャンマー）、そして、ムンバイ（インド）だ。この3都市は、1人当たりGDPが1,000ドルを超え、今後、消費の拡大が期待される。中国が1人当たりGDP1,000ドルを超えたのが今世紀初頭の2001年。今後の日系企業の成長戦略について中国との対比で考察する。

## プノンペン：南部経済回廊の中心都市（月額最低賃金：USD128）

フランスの植民地時代には、その落ち着いた趣きから「東洋のパリ」と称されたプノンペン。今では渋滞する高級車の隙間をトゥクトゥク（三輪タクシー）が縫うように走る、喧騒の街だ。14年6月に開業したイオンモールでは、日本製の高級腕時計を買う富裕層を見かける一方で、涼みに来ただけの客もいる。最低賃金はバングラデシュ、ラオスに並ぶ低水準で、人口の7割を占める農村住民の銀行口座保有率は1割未満と、経済成長の幕開けはこれからだ。

今年4月にはベトナムとタイ、ミャンマーを結ぶ南部経済回廊が開通し、経済圏の拡大が期待される。プノンペンはその中心都市として、新興市場を狙う世界の企業から注目を集める。

## ヤンゴン：「タイ・プラスワン」の最有力候補（最低賃金制度未導入）

民主化以降投資マネーが流入し、これから15年前の上海と同様の高度経済成長が始まる。米国の経済制裁も解除され、ヤンゴン市内では建設中のビルが増え、欧米系企業の進出ラッシュが始まっている。企業の中には、「タイ・プラスワン」として人件費が高騰するタイから隣国ミャンマーに製造拠点を移す動きも出てきている。

しかし、ヤンゴン一極集中の弊害から市内中心部の地価は高止まり。住宅やオフィスの供給が追いつかず、賃料は高騰している。

人口5,142万人と、インドシナ半島でタイの6,446万人に次ぐミャンマー。所

得の向上により、近い将来の市場化も期待される。

## ムンバイ：走り出した巨象の中核都市（月額最低賃金：USD111）

「世界最大の民主国家」ゆえに、これまで緩やかに経済発展してきたインド。昨年就任したモディ首相は「インドの経済発展の鍵は製造業の振興だ」として、「メイク・イン・インド」キャンペーンを展開、同首相の政治手腕への期待は大きい。

インド最大の都市ムンバイは、古くは東インド会社の本拠地として17世紀以降インド経済の中心地として発展、現在では国内随一の金融都市で、インド準備銀行、証券取引所のほか多くの金融機関の本店がある。最大の港、ナバシェバ港はインドの海上コンテナの約6割を扱う。ムンバイ郊外のプネ工業団地では、外資系製造業の誘致が進む。14年2月にモノレール、6月にはムンバイメトロが開業し、今後日本のODAによる路線も順次開通する。インフラ整備が進む街の様子は、1995年に地下鉄1号線が営業開始し、経済発展とともに



ムンバイメトロ（2015年5月撮影）

に都市機能を拡充させていった上海を髣髴とさせる。まさに「巨象」の中核都市である。

## 成長の重心は西へ

3都市の発展プロセスの共通点は、今年3月に亡くなったシンガポール建国の父、リー・クアンユー氏の成長戦略にある。同氏はヒト、モノ（国土、天然資源、産業）、カネのいずれにも恵まれなかったシンガポールを、60年代以降、外資系輸出型製造業の誘致で経済をテイクオフ、さらには「国際金融都市国家」に舵を切って、「中進国の罠」を回避した。



トップランナーのシンガポールと、馬力のある中国が牽引してきた「東アジアの経済成長モデル」。当面はインドを目指し、その重心を西へと移すと考える。今、最も海外からの投資が盛んなベトナムやインドネシアなどの国を「今日の国」とするならば、今後の日系企業の活躍のステージは、経済発展がこれから始まるカンボジア、ミャンマー、インドなど「明日の国」であると確信する。

「明日の国」は、「中進国の罠」に陥らないための取り組みを続けなければならない。加えて、そこへの進出を目指す各国企業は「罠」へ陥らないための、これら国々の取り組みを注視しつつ、経済活動のステージを拡大しなければならない。

## 上海モーターショー開催

4月20日から29日まで、「第16回上海国際自動車工業展覧会（上海モーターショー）」が開催された。会場となった世界最大級の展示施設「国家会展中心」は総展示面積約35万㎡を誇り、世界18の国と地域から自動車・関連部品メーカーを中心に約2,000社が出展、約1,340台の自動車展示された。2013年の東京モーターショーは約3.8万㎡の会場に178社426台が出展するに留まり、スケールの違いに驚かされる。まさに「世界最大のモーターショー」と呼ぶにふさわしい規模だ。

今回のモーターショーで世界初公開された最新車は109台に及ぶ。初日のプレス発表では、各自動車メーカーのトップ自ら現地入りし、最新技術を用いた自動車のPRを行うなど、中国市場に熱い視線を向けている。

なぜこれほど世界の自動車関連企業が上海モーターショーに殺到するのだろうか。かつては東京モーターショーも展示車が1,000台前後に達する時期があった。約30年前の1985年前後の話である。当時の日本は高度成長期を経て安定成長期にあり、車社会へ突き進んでいった時期である。今の中国は当時の日本とは状況は違うが、「一般市民が車を所有できる・欲しがる」という点では、近い状況かもしれない。

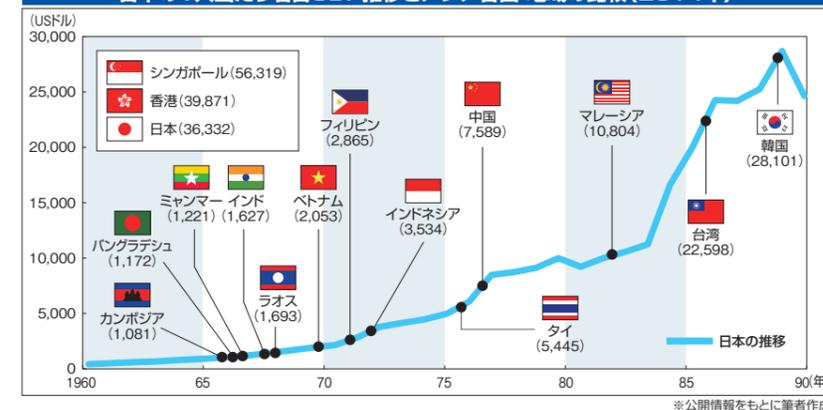
国民所得の増加に伴い、中国の新車販売台数は年々増加しており、2014年は2,349万台と5年連続で世界最高を記録。日本の556万台をはるかに上回る市場規模である。さらに注目すべきは、自動車普及率の低さにある。13年の普及率は11人に1台と、日本の2人に1台を大きく下回っており、その潜在的な購買層の多さは特筆すべきものがある。中国景気の先行き不透明感は拭えないものの、しばらく「世界最大のモーターショー」という冠は外れそうにない。

「しがきんアジア月報」5月号より  
上海駐在員事務所長 宮木 暢久



多くの見学者でにぎわう展示会場

## 日本の1人当たり名目GDP推移とアジア各国・地域の比較（2014年）





百間堤 / 大津市大物地先

**県内景気**

現在の景気 → 生産活動 → 個人消費 → 民間設備投資 → 住宅投資 → 公共投資 → 雇用情勢 → 3か月後の景気

凡例: ☀️ 晴れ, ☁️ 晴れ一時曇り, ☁️ 曇り, ☁️ 曇り一時雨, ☔️ 雨, ☁️ 前月比, 📈 上昇・好転, 📉 横ばい, 📉 下降・悪化

## 引き続き弱含みの足踏み状態

### 県内景気の動向

**現状** 県内製造業の生産活動の現状を鉱工業生産指数でみると、原指数は4か月連続のマイナス、季節調整済指数も2か月ぶりのマイナスとなり、この結果、季調済指数の3か月移動平均値は微増にとどまり、全体に弱含みで推移している。

需要面では、大型店売上高については飲食料品がけん引しているものの、他の品目では消費増税の影響が長引いているためマイナスが続き、乗用車の新車登録台数も9か月連続かつ大幅のマイナスとなり、引き続き伸び悩んでいる。また、民間設備投資の指標である民間非居住用建築着工床面積は鉱工業用と商業用で前年を大きく下回り、全体では2か月連続の大幅マイナスとなり、新設住宅着工戸数は持家で2か月ぶりのプラスとなったものの、貸家と分譲住宅で大幅のマイナスとなったため、全体ではこれも前月に続き前年を大きく下回った。一方、公共工事は請負件数が2か月連続で前年を下回っているが、金額は5か月ぶりの大幅プラスとなった。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は前月に比べ2か月ぶりに上昇の1.63倍の高水準、有効求人倍率も同0.03ポイント上昇の1.03倍となり、回復傾向がみられる。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は一部の業種で前向きな動きが出始めているものの、在庫調整が長引き、全体に弱含みの状態が続いている。また、需要面では消費増税の悪影響が根深いため、伸び悩みの状況が続いている。したがって県内景気の現状は、全体的には引き続き弱含みの足踏み状態にあるものと考えられる。

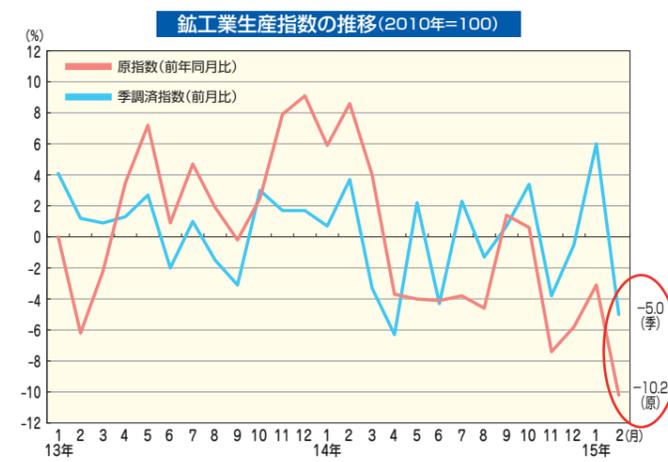
**今後の動向** 県内製造業の生産活動については、全国的な景気の回復基調を受けて緩やかな回復に向かうものと思われる。一方、需要面では、個人消費については食料品や日用品などの最寄り品を中心に底堅く推移するとみられるが、円安に伴う物価上昇と消費増税などのマイナス要因から消費マインドは引き続き厳しいため、耐久消費財や高級品の回復感乏しく、全体に盛り上がり欠けた展開にとどまるものとみられる。また、新設住宅着工や民間設備投資などの投資関連需要は駆け込み需要の反動減が和らぐものの、慎重さが残るため弱含みの推移になるものと思われる。

したがって今後の県内景気は、現状の足踏み状態が今しばらくは続き、消費増税1年半後の今年後半あたりから増税の影響が和らぎ、緩やかながら回復に向かうものと考えられる。

### 「鉱工業生産指数」は両指数ともにマイナス

2015年2月の県内製造業の生産状況を見ると、鉱工業生産指数(2010年=100)の「原指数」は93.7、前年同月比-10.2%で4か月連続のマイナス、「季節調整済指数」も99.8、前月比-5.0%で、2か月ぶりのマイナスとなった。この結果、季調済指数の3か月移動平均値(1月)は101.3、前月比+0.1%と、微増にとどまった。業種別(中分類)に季調済指数の水準をみると、「パルプ・紙・紙加工品」や「繊維」「食料品」「その他」などは高水準となったが、「鉄鋼」や「金属製品」「窯業・土石製品」などの水準は低い。また、前月と比べると「電気機械」と「繊維」はわずかにプラスとなったが、他の業種はほとんどマイナスで、なかでも「輸送機械」や「窯業・土石製品」「食料品」などは大幅のマイナスとなった。

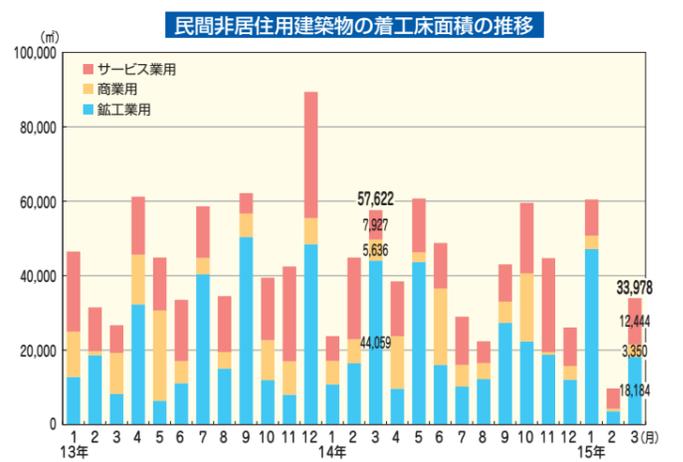
生産状況の先行きをあらわす「出荷指数」と「在庫指数(製品在庫)」を前年比でみると、出荷は5か月連続のマイナスで(原指数94.9、同月比-9.4%)、在庫は13か月連続かつ二ケタの大幅プラスとなっている(同120.2、同+11.2%)。



### 「民間非居住用建築着工床面積」は前月に続き大幅のマイナス

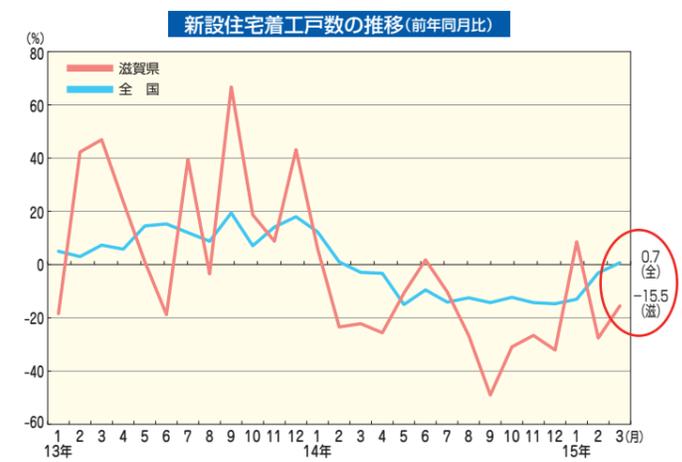
民間設備投資と関連の深い「民間非居住用建築着工床面積」(3月)は33,978㎡、前年同月比-41.0%で、前月に続き大幅のマイナスとなった。業種別にみると、「サービス業用」は2か月ぶりの大幅プラスとなったものの、「商業用」は5か月連続、「鉱工業用」も2か月連続で前年を大きく下回っている(「サービス業用」:12,444㎡、同+57.0%、「商業用」:3,350㎡、同-40.6%、「鉱工業用」:18,184㎡、同-58.7%)。

3月のトラック新車登録台数をみると、「普通トラック(1ナンバー車)」は5か月連続のプラスとなっているのに加え(190台、同+0.5%)、「小型四輪トラック(4ナンバー車)」が3か月ぶりに前年を上回ったため(306台、同+3.0%)、2車種合計では5か月連続のプラスとなっている(496台、同+2.1%)。



### 「新設住宅着工戸数」は2か月連続の大幅マイナス

3月の「新設住宅着工戸数」は566戸、前年同月比-15.5%で、2か月連続の大幅マイナスとなった。利用関係別でみると、「持家」は316戸、同+7.1%(大津市63戸など)で2か月ぶりのプラスとなったものの、「貸家」は156戸、同-31.3%(大津市49戸、栗東市41戸など)で前月に続き大幅のマイナス、「分譲住宅」も72戸、同-51.4%(草津市17戸、大津市16戸など)で4か月連続の大幅マイナスとなっている。分譲住宅の内訳をみると、「一戸建て」は9か月連続で前年を下回り(72戸、前年差-8戸)、「分譲マンション」も3か月連続で申請がなかった(0戸、同-68戸)。なお、「給与住宅」は22戸(湖南市21戸など)。



## 「定年まで」の意識高まるも 「転職」志向も増加

Text by しがぎん経済文化センター 長山 真由美

景気回復への期待感やそれに伴う人手不足から企業の新卒求人は改善傾向にあるものの、昨年の就職活動も厳しい状況が続いた。そのような中、今春も多くの新入社員が社会人生活の第一歩を踏み出した。毎年、県内企業の新入社員を対象に当社が実施するアンケート調査結果から、今年の新入社員の意識を探ってみよう。

### 【調査概要】

- 調査名:「新入社員意識調査」
- 調査時期:15年3月25日(水)～4月24日(金)
- 調査対象先:当社開催の新入社員研修に参加した新入社員(有効回答数:668名)  
(男性348人(52.1%)、女性320人(47.9%))

### 入社動機は「資格や能力が発揮できそう」が最多で4割

「入社を決めた主な動機は何か」(複数回答)と尋ねたところ(図1)、今年も「自分の資格や能力が発揮できそう」(40.0%)が最も多く、昨年より1.8ポイント増加した。次いで多い「企業イメージがよい」は27.8%と1.1ポイント増加した。「企業イメージがよい」との回答は、昨年、3年ぶりに前年差-4.3ポイントと大きく下落に転じており(2012年:29.9%→13年:31.0%→14年:26.7%)、大企業を重視する傾向は依然続いているものの、近年は企業規模にこだわらない姿勢も出てきているようだ。

### 女性は「協調性」、男性は「体力」「集中力」にも自信あり

「社会人として必要なもののうち、あなたが自信を持っているもの」(複数回答)を尋ねたところ(図2)、「協調性」(29.8%)が最も多く、昨年に比べて+6.1ポイントと3年ぶりに大きく増加に転じた。次いで「意欲・やる気」(22.2%)、「忍耐力」(20.8%)と続いたが、どちらも近年減少する傾向にある(25.6%→22.8%→22.2%、23.6%→22.2%→20.8%)。

最多となった「協調性」だが、男性の24.6%に対し女性は35.4%と10ポイント以上高く、女性のほうが自信を持っている人が多い。一方、男性は「体力」(19.7%、女性:10.4%)、「集中力」(17.1%、女性:10.1%)で、女性よりも割合が高くなった。

### 「管理職にこだわらない」が最多となるも 4年連続で減少

「社会人としてどのような道を進みたいか」と尋ねたところ(図3)、「いろいろな仕事を体験したいが、管理職にはこだわらない」(33.8%)が最も多くなったものの、4年連続で減少した。次いで「いろいろな仕事を体験し、部下を持つような管理職になりたい」(25.0%)、「一つの分野を勉強し、その道の専門職になりたい」(22.2%)が続いた。

男女別で見ると、男性は「管理職になりたい」(39.3%)が最も多く、3年連続で増加した。女性は「管理職にはこだわらない」(41.3%)が最も多いものの、3年連続で減少。一方で「専門職になりたい」(26.0%)が昨年より4.5ポイント増加し、男性(18.8%)に比べ、女性のほうが専門職を志望する割合が高くなっている。

### 57.3%は「定年まで」 「よい仕事があれば転職」も増える

「定年まで勤めたいか」を尋ねたところ(図4)、男女とも「そうしたい」(57.3%)が最も多く、4年連続で増加した。安定志向はさらに高まっているようだ。一方で「他によりよい仕事があれば転職する」が2年連続で増加(14.8%→15.9%→17.4%)し、全体としては2006年から13年まで、8年間減少傾向が続いていた転職に対して少し前向きになってきたようだ。

女性では「結婚したらやめる」(11.1%)が前年比+1.1ポイントと4年ぶりに微増となったものの、「子供ができればやめる」(15.0%)は3年連続で減少した。結婚・出産後も働くという女性の割合は近年増加する傾向にあり、少子高齢化が課題となる中で、育児休業など子育て支援制度の充実や、制度を利用しやすい職場環境の構築が求められる。

### 理想の上司は今年も 「イチロー」「天海祐希」が人気

「理想とする上司像を有名人に例えると」と尋ねたところ(表)、「理想とする上司像を有名人に例えると」と尋ねたところ(表)、男性の上司としては、米大リーガーの「イチロー」を54人(男性41人、女性13人)が挙げ、10年連続の1位となった。女性の上司では女優の「天海祐希」が74人(男性26人、女性48人)で6年連続の1位となった。

「その有名人を選んだ理由」では、「イチロー」は「仕事ができそう」「率先して手本を見せてくれそう」が各22人で最も多く、次に「目標ややり方をはっきり示してくれそう」が19人で続いた。「天海祐希」を選んだ理由は、「頼りになりそう」が33人で最も多く、次いで「面倒見がよく、何でも相談できそう」(31人)となった。

### 理想とする上司像

男性の上司	回答数(人)	順位	女性の上司	回答数(人)
イチロー	54	1	天海祐希	74
松岡修造	38	2	真矢みき	19
明石家さんま	18	3	江角マキコ	17
池上彰	16	4	仲間由紀恵	17
長谷部誠	15	5	米倉涼子	12

### モチベーションや持続性を高める工夫を

回復の兆しが見えつつあるものの、昨年の就職活動も厳しい状況が続いた。そのような中、自らの資格・能力を生かせる企業を志望する傾向は変わらず強い。また「協調性」に自信がある新入社員が大きく増加したのに対し、「意欲・やる気」「忍耐力」が減少傾向にあるのは気がかりだ。一方、男女とも「定年まで働く」との意識は高いものの、転職に前向きな姿勢も見える。仕事へのモチベーションや持続性を高めながらいかに能力発揮を促していくか、受け入れる企業側も努力と工夫が求められる。

図1 入社を決めた主な動機 上位10項目(複数回答)

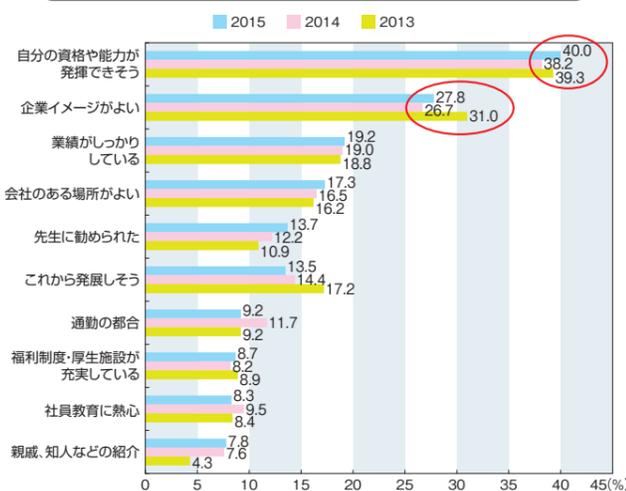


図2 あなたが自信を持っているもの 上位10項目(複数回答)

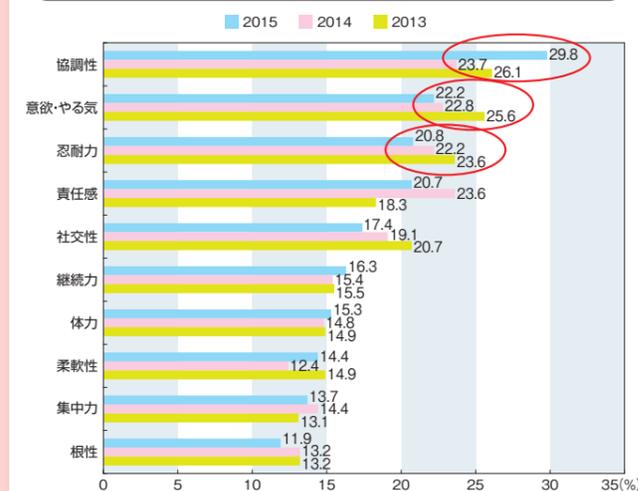


図3 社会人としてどのような道を進みたいか

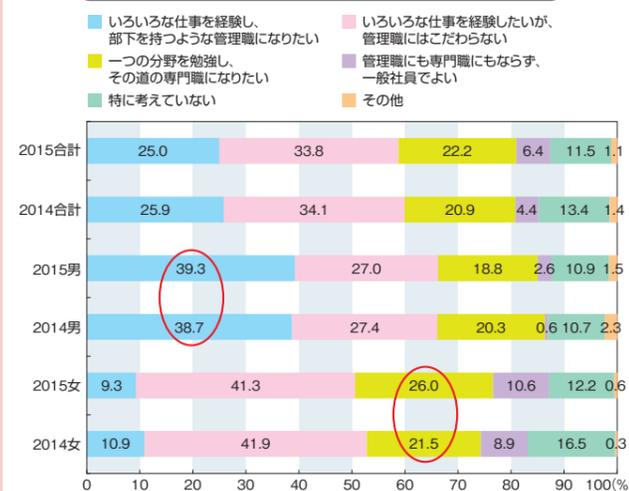
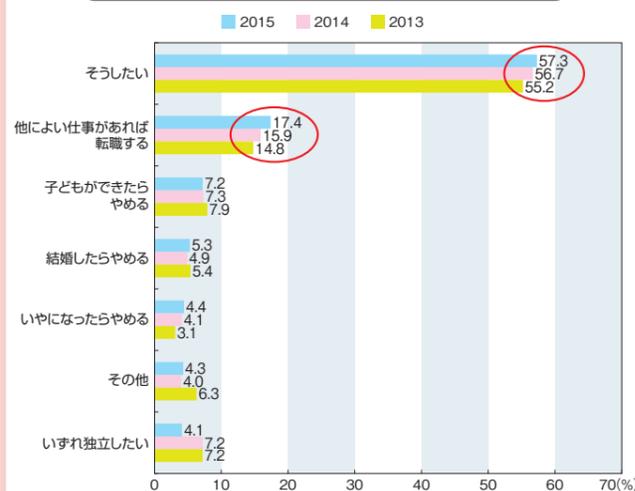


図4 定年まで勤めたいか



項目 年月	鉱工業指数(2010年=100)						消費者物価指数 (大津市、2010年=100) (生鮮食品を除く総合)			大津市勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)			大型小売店販売額			
	生産		出荷		製品在庫		指数		可処分所得		家計消費支出		店舗調整前	店舗調整後		
	季調済指数	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	円	前年比	円	前年比	円	前年比	前年比		
2012年度(年)	※101.1	-	※▲1.6	-	※1.5	-	※▲0.1	※99.2	-	※▲0.3	※347,541	※5.5	※264,306	※▲5.3	※▲1.1	※▲1.3
2013年度(年)	※103.4	-	※▲2.3	-	※▲0.6	-	※▲1.0	※99.5	-	※0.3	※354,132	※1.9	※294,675	※▲0.2	※▲1.7	※▲1.7
2014年度(年)	※102.2	-	※▲1.2	-	※▲0.6	-	※11.9	※102.0	-	※2.8	※433,981	※22.5	※323,740	※9.9	※4.8	※1.4
2014. 3	107.4	▲3.3	4.0	▲2.1	4.4	3.1	3.8	100.1	0.2	1.4	381,057	37.4	364,090	22.8	12.2	7.8
4	100.6	▲6.3	▲3.7	▲7.8	▲4.8	3.3	5.6	102.1	2.0	3.1	388,630	13.5	303,755	▲9.5	3.0	▲0.8
5	102.8	2.2	▲4.0	2.7	▲3.4	6.0	10.2	102.6	0.4	3.0	298,882	8.2	313,685	8.5	3.6	▲0.8
6	98.4	▲4.3	▲4.1	▲2.1	▲1.2	1.7	11.7	102.6	0.0	3.0	627,615	49.6	297,663	5.8	3.6	▲0.3
7	100.7	2.3	▲3.8	0.6	▲2.3	2.0	14.3	102.8	0.2	3.1	521,640	9.1	362,028	12.0	4.1	0.2
8	99.4	▲1.3	▲4.6	▲0.3	▲3.0	1.0	14.0	102.8	0.0	2.9	408,513	28.0	277,245	15.0	5.9	1.9
9	100.1	0.7	1.4	1.3	4.1	▲0.6	12.7	102.8	0.0	2.8	362,931	26.2	335,319	25.6	6.9	2.6
10	103.5	3.4	0.6	1.6	▲0.2	▲0.6	12.4	103.0	0.3	2.8	418,144	36.1	344,192	22.7	4.9	2.6
11	99.6	▲3.8	▲7.4	▲4.4	▲9.3	0.0	13.5	102.8	▲0.2	2.7	350,202	▲2.0	339,638	1.4	3.9	3.2
12	99.1	▲0.5	▲5.8	1.7	▲5.8	▲3.2	11.9	102.7	▲0.1	2.7	793,166	26.9	361,354	18.3	3.2	0.4
2015. 1	105.0	6.0	▲3.1	3.4	▲5.3	▲0.1	13.4	102.4	▲0.3	2.6	353,056	15.5	326,632	10.3	2.7	0.5
2	P98.8	P▲5.0	P▲10.2	P▲3.8	P▲9.4	P▲1.5	P11.2	102.5	0.0	2.5	422,519	20.2	266,635	▲8.0	2.4	▲0.2
3								102.9	0.5	2.8	408,350	7.2	390,794	7.3	P▲5.6	P▲7.7

項目 年月	乗用車新車登録台数 (軽を除く) (登録ナンバー別)		民間非居住用 建築物着工床面積 (3業用計)(注)③		新設住宅着工				公共工事請負金額		求人倍率 (含パート、季調済)		雇用保険 受給者数(人)		
	台	前年比	m <sup>2</sup>	前年比	戸	前年比	持家	貸家	分譲	百万円	前年比	倍	倍	人	前年比
	台	前年比	m <sup>2</sup>	前年比	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	倍	倍	人	前年比
2012年度(年)	※38,450	※26.6	※544,001	※11.8	※9,271	※6.2	※0.7	※7.5	※19.5	94,176	▲3.1	1.08	0.68	7,395	6.0
2013年度(年)	※35,986	※▲6.4	※570,921	※4.9	※11,015	※18.8	※15.8	※20.6	※26.0	122,893	30.5	1.34	0.85	6,605	▲10.7
2014年度(年)	※36,446	※1.3	※499,029	※▲12.6	※8,329	※▲23.5	※▲25.2	※▲12.2	※▲33.1	127,701	3.9	1.47	0.98	5,703	▲13.7
2014. 3	5,620	24.2	57,622	116.0	670	▲22.2	▲19.6	▲23.3	▲25.3	9,050	26.4	1.47	0.94	5,237	▲23.3
4	2,002	▲25.4	38,472	▲37.2	690	▲25.6	▲23.5	▲19.0	▲45.2	18,480	32.7	1.50	0.97	5,511	▲23.2
5	2,164	▲9.9	60,727	35.3	659	▲10.7	▲28.5	62.6	▲21.0	13,335	4.0	1.48	1.01	6,284	▲17.9
6	2,847	0.7	48,776	45.5	679	1.8	▲16.2	15.5	47.1	8,925	25.4	1.44	0.97	6,224	▲14.9
7	3,135	▲1.5	28,969	▲50.6	781	▲10.2	▲22.0	9.8	▲0.9	14,574	16.1	1.43	0.97	6,478	▲15.7
8	2,351	▲4.2	22,380	▲35.1	691	▲26.6	▲35.6	78.0	▲54.2	9,051	▲19.1	1.39	0.97	6,072	▲14.4
9	3,324	▲2.8	43,056	▲30.8	702	▲49.0	▲28.8	▲26.8	▲80.1	12,361	▲15.2	1.42	0.95	6,012	▲11.1
10	2,758	▲7.1	59,573	51.0	654	▲30.9	▲32.1	▲11.7	▲50.3	10,944	7.2	1.51	0.96	5,888	▲14.5
11	2,621	▲14.0	44,707	5.2	696	▲26.6	▲37.1	▲38.6	21.2	4,525	▲47.1	1.34	0.95	5,307	▲13.4
12	2,583	▲8.5	26,099	▲70.8	794	▲32.1	▲32.4	▲42.1	▲10.5	5,021	▲2.3	1.47	0.99	5,323	▲10.5
2015. 1	2,284	▲29.3	60,492	154.6	818	8.6	6.0	82.2	▲62.8	5,263	▲51.3	1.59	1.00	5,275	▲10.6
2	3,116	▲18.3	9,690	▲78.4	485	▲27.6	▲29.1	▲21.6	▲35.5	6,750	▲2.9	1.53	1.00	5,088	▲7.0
3	4,400	▲21.7	33,978	▲41.0	566	▲15.5	7.1	▲31.3	▲51.4	18,465	104.0	1.63	1.03	4,977	▲5.0

項目 年月	常用雇用指数 (全産業) (2010年=100)		所定外労働時間 指数(製造業) (2010年=100)		常用労働者の 賃金指数(名目) (2010年=100)		企業倒産		手形交換高		不渡手形発生高		銀行取引 停止処分	業況判断DI		
	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	件	百万円	千枚	億円	前年比	枚	百万円	前年比	件	
	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	件	百万円	千枚	億円	前年比	枚	百万円	前年比	件	
2012年度(年)	※100.6	※▲0.7	※110.3	※3.4	※98.7	※▲2.1	※107	※55,530	※380	※5,149	※▲8.6	※306	※303	※▲56.2	※17	-
2013年度(年)	※101.1	※0.5	※113.5	※2.9	※99.5	※0.8	※85	※11,778	※356	※4,746	※▲7.8	※306	※373	※23.3	※17	-
2014年度(年)	-	-	-	-	-	-	※115	※17,616	※331	※4,197	※▲11.6	※153	※154	※▲58.7	※6	-
2014. 3	98.8	▲1.9	129.4	16.3	87.0	▲0.3	6	1,049	29	371	8.5	30	15	5.3	1	(1-3月期) 19
4	100.0	▲1.8	123.8	7.1	83.8	1.2	9	1,069	28	368	▲24.9	11	10	▲84.9	1	
5	100.1	▲1.6	115.0	4.0	83.1	0.8	12	2,364	24	294	▲27.8	3	31	▲44.0	0	(4-6月期) ▲9
6	100.1	▲1.2	121.3	4.9	148.8	1.2	13	756	31	462	31.5	2	2	▲92.4	0	
7	98.4	▲3.0	115.0	▲3.2	117.7	0.9	13	809	30	368	▲23.5	5	1	▲98.4	1	
8	98.1	▲3.0	109.4	▲2.8	82.0	▲1.0	10	735	23	285	▲15.1	5	1	▲96.4	0	(7-9月期) ▲10
9	97.7	▲3.2	118.1	6.1	80.8	0.4	10	1,228	30	388	▲12.5	9	10	▲55.6	0	
10	97.5	▲3.8	121.9	3.7	81.8	0.9	11	1,284	26	325	▲13.7	11	17	▲69.6	1	
11	97.8	▲3.6	121.3	▲3.0	85.9	1.1	11	5,644	22	261	▲13.5	12	13	358.4	0	(10-12月期) ▲8
12	97.9	▲2.5	124.4	3.2	182.1	0.2	8	1,443	29	355	▲0.6	15	24	166.0	1	
2015. 1							5	200	24	322	▲20.1	13	15	▲8.4	1	
2							5	495	25	321	0.7	8	8	▲45.1	2	(1-3月期) ▲12
3							12	1,572	31	449	21.1	18	13	▲11.7	0	
4							11	497	26	352	▲4.5	9	7	▲35.8	2	

### 今月の注目データ

**公共工事請負金額は2年連続で増加**

西日本建設業保証(株)の前払保証統計による滋賀県内の2014年度の公共工事請負実績は、2,593件の1,277億円だった。前年度(2,708件/1,229億円)と比べて件数は4.2%減少したが、金額は3.9%増加した。1995年度をピークに減少基調が続いていたが、13年度からは2年連続の増加となった。発注者別では、ウエイトの高い市町(648億円)と県(414億円)がともに増加し(前年度比+14.3%、+12.5%)、全体をけん引した。(中村)

### 県内の公共工事請負金額の推移

年	国	独立行政法人	県	市町	その他
2005	1,569				
06	1,265				
07	1,322				
08	1,217				
09	1,043				
10	943				
11	972				
12	942				
13	1,229				
14	1,277				

項目 年月	鉱工業指数(2010年=100)*						消費者物価指数 (2010年=100) (生鮮食品を除く総合)			全国勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)			大型小売店販売額			
	生産		出荷		製品在庫		指数		可処分所得		家計消費支出		店舗調整前	店舗調整後		
	季調済指数	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	円	前年比	円	前年比	円	前年比	前年比		
2012年度(年)	※97.8	-	※0.6	-	※1.2	-	※5.2	※99.7	-	※▲0.1	※425,005	※1.1	※313,874	※1.6	※▲0.0	※▲0.8
2013年度(年)	※97.0	-	※▲0.8	-	※▲0.6	-	※▲4.3	※100.1	-	※0.4	※426,132	※0.3	※319,170	※1.7	※0.6	※▲0.4
2014年度(年)	※99.0	-	※2.1	-	※2.1	-	※6.2	※102.7	-	※2.6	※430,141	※0.9	※318,755	※▲0.1	※1.7	※0.9
2014. 3	101.5	0.5	7.4	0.8	6.5	1.1	1.2	100.8	0.3	1.3	358,682	▲1.3	384,680	9.6	17.0	16.2
4	99.2	▲2.3	3.7	▲3.7	1.9	▲0.1	▲1.5	103.0	2.2	3.2	373,090	▲3.2	329,976	▲3.1	▲6.0	▲6.7
5	99.5	0.3	1.0	▲0.4	▲1.1	1.9	1.1	103.4	0.4	3.4	320,940	0.8	293,050	▲4.8	▲0.5	▲1.2
6	97.6	▲1.9	3.2	▲0.9	1.9	1.3	1.1	103.4	0.0	3.3	568,874	▲3.9	295,738	▲0.3	▲1.2	▲1.8
7	97.5															



## 「挑 戦」

滋賀銀行 専務取締役 吉田 郁雄

安倍政権の経済対策「アベノミクス」による景気回復は大都市や大企業において次第に具体化しつつありますが、その実感は地方や中小企業までにはまだまだ及ばず、充分とはいえない状況であります。円安によるコストアップと電気料金の値上げ、人件費の上昇に日々直面されている中小企業経営者の方々も多いと存じます。

加えて、地球環境問題、人口減少と超高齢社会が加速する中での社会保障と財政の問題など日本が乗り越えるべき課題は山積しています。

しかし、いたずらに悲壮感に陥る必要はないと思います。つまり「乗り越えなければならない課題がある」ということは、換言す

れば、「乗り越えるチャンス」があり、「乗り越えた際の喜びがある」ということにほかなりません。逆境こそ好機との逆転の発想を、今こそ持ちたいと思います。多様な立場、考えの人々がベクトルを合わせて問題解決に立ち向かうなら、方途は見えるはずで、わくわくするような展開を待っていることでしょう。

「地方創生」が始動しました。早々に具体的な総合戦略が策定され、その実行が待たれるところです。当行も「地域振興室」を軸に地域と連携、地元経済の活性化に取り組んでいます。

未来を担う若い世代に勇気や希望を与えられるような社会基盤づくりのため、自らも逆境こそ好機の思いを奮い起こし、課題に挑戦していきたいと思ひます。

## 県内データ あれこれ

## 産業別就業者割合

### 第2次産業の割合は全国トップ 第3次産業の割合が増加基調

今回は総務省が公表している「国勢調査」から産業別の就業者割合についてみてみたい。

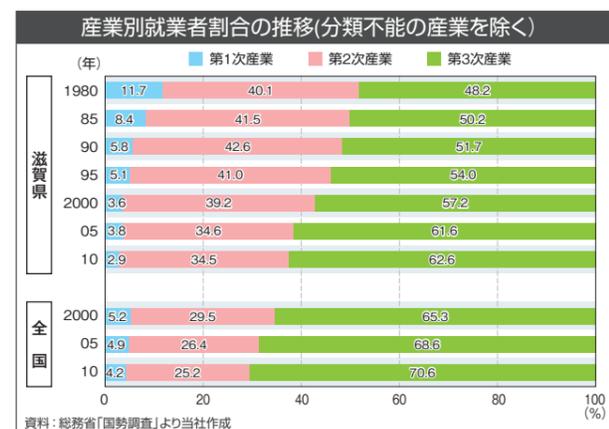
直近の2010年の調査において県内の就業者数は67万3,612人で、全国の就業者数の約1.1%を占める(全国:5,961万1,311人)。

産業別にみると、第1次産業が2.9%、第2次産業が34.5%、第3次産業が62.6%となっている。全国との比較では第2次産業の割合が高く、全国平均を9.3ポイント上回り、全国でもトップとなっている。第2次産業の大半を「建設業」と「製造業」が占めているが、県内において「建設業」の割合は6.5%と全国比較で低位となる一方、「製造業」の割合は27.9%と全国トップとなっており、「ものづくり県」といわれる滋賀県の特徴がはっきり表れている。

長期的にみると、県内、全国とも第3次産業の割合が高まる傾向にある。約30年前の1980年との比較では第1次産業、第2次産業の割合がそれぞれ8.8ポイント減、5.6ポイント減となる一方で、第3次産業は14.4ポイント増となり6割を超えた。少子高齢化等に伴

う「医療、福祉」等への雇用のシフトが一因であると考えられる。産業別就業者割合は産業構造の変化を捉える重要な指標であり、引き続き動向に注目したい。

しがぎん経済文化センター 吉川 友



資料：総務省「国勢調査」より当社作成  
(注)第1次産業：「農業、林業」「漁業」 第2次産業：「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」「製造業」  
第3次産業：「卸売業、小売業」「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」「サービス業」  
「運輸業、郵便業」「教育、学習支援業」他6産業



## 究極のスピードトリミングで ワンちゃんの幸せを願う

▶会社DATA 株式会社TALLTREE

- 本社/彦根市堀町405-8 ■創業/2008年(平成20)年
- 代表/高木 美樹 ■従業員数/3名
- 事業内容/ドッグサロン・ドッグホテル・ドッグランの運営、ドッグフードなどの販売
- 営業時間/9:30~19:00
- 問い合わせ先/TEL:0749-25-3030 ■URL/http://www.talltree.jp/
- スピードトリミングWEBサイト/http://speedtrimming.jp/

「ワンちゃんたちの笑顔が見たい」と彦根市にドッグサロンをオープンしたトールトゥリー。そのコンセプトは総合的なケアを意味する「ホリスティック」だ。ワンちゃんをとりまくさまざまな環境に目を向け、運動(ドッグラン)、生活環境、食事、日ごろの手入れ(トリミング)など、健康に必要な物事を全体的にとらえ、動物に本来備わっている自然治癒力を高めるサポートを行っている。

このようなさまざまな取り組みの中で、今もっとも注目されているのが、スピードトリミングだ。通常トイ・プードルをシャンプーからカット

まで仕上げるには2~3時間かかるが、トールトゥリーでは1時間。倍以上のスピードだ。もちろん飼い主は仕上がりに満足している。

素早く仕上げるのは、ワンちゃんの負担を少なくするため。この技術を日本に持ち込んだオーナーの高木さんが、留学先のアメリカで学んだ技術を日本で受け入れられるようアレンジした。今では「高木流スピードトリミング」として全国のトリマーから支持を受け、各地でセミナーを開催している。多くのワンちゃんの負担を減らし、飼い主さんといつまでも幸せに暮らしてほしいとの願いを込めて。

## SHIGAGIN TOPICS

### 故・高田紘一「お別れの会」に2千人が参列



3月2日に死去した当行の特別顧問 高田紘一(前取締役会長・前頭取)の「お別れの会」を4月27日、大津プリンスホテルで執り行いました。

当日は初夏を思わせるような好天に恵まれ、お取引先企業の皆さまをはじめ、政財界や福祉団体の関係者、文化人など、故人ゆかりの方々約2千人にご参会を賜りました。

献花場には故人が好んだチューリップが飾られ、生前こよなく愛したベートーベン作曲「交響曲第9番」の第3楽章がしめやかに流れる中、ご参会の皆さまに献花いただきました。

故人の足跡をたどる「思い出のパネル展」をはじめ、直筆の絵画、書の前には多くの参列者が足を止められ、在りし日の面影を偲ばれていました。

平成27年度 特許等取得活用支援事業(滋賀県)

# 知財総合支援窓口

**無料  
相談**

中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題を一元的に受付け、その場で解決を図るワンストップサービスを提供します。高度で専門的な案件には、知財専門家、中小企業支援機関等と連携して支援します。

**こんなときにご活用を!!****〈秘密は守ります〉**

- 特許・意匠・商標を取得したい
- 先行技術類似調査をしたい
- 他社と権利侵害等でもめている
- ブランド化して、価値を高めたい
- 海外へ進出し、事業展開したい
- 電子出願のやり方がわからない
- 特許料等の減免制度を利用したい 等

**「知財総合支援窓口」にご連絡ください。  
お気軽にご相談を。**

- ・窓口支援担当者が相談を受付けて支援します。必要に応じて訪問支援も可能です。
- ・訪問し社員向けに勉強会を行います。
- ・必要に応じて適切な専門家を選定して支援します。
- ・業務時間外および休日でも専門家の訪問指導が可能です。
- ・毎週水・金曜日は弁理士、もしくは弁護士による相談会を開催します。
- ・弁理士による相談会を県内9箇所で開催します。
- ・サテライト窓口(滋賀県東北部工業技術センター)からテレビ会議システムで相談できます。
- ・県内の中小企業支援機関と連携して支援します。

\* 専門家(弁理士等)による訪問支援の対象は、原則中小企業、個人事業主、創業予定(1年以内)の個人の方となります。

**お問い合わせ先****「知財総合支援窓口」 一般社団法人 滋賀県発明協会**

滋賀県栗東市上砥山232 滋賀県工業技術総合センター別館1階 《駐車場あり》

TEL.077-558-4040 / FAX.077-558-3887 <http://www.chizai-shiga.jp/>

平成27年度特許等取得活用支援事業(滋賀県)は、近畿経済産業局からの受託事業として滋賀県発明協会が実施しています。